

# 出張報告書

幹事長印 経理責任者印

R1年 8月 13日

幹事長

渡辺豊子 殿

出張者氏名 渡辺豊子 印

二見裕子 印

下記のとおり報告します。

1. 出張先 市町村アカデミー (千葉県美浜町浜田1丁目1番)

2. 出張日時 R1年8月7日(水) ~ 8月9日(金)

3. 出張用務 (宿泊を要する場合はその事由)

市町村議会議員特別講座 (政策立案の基本) と題した研修に参加

4. 旅 費

(交通費)

JR 日根野~JR 幕張本郷

乗車券 ¥8,640.- × 2 (往復) × 2 人分 = ¥34,560.-

特急券 (新幹線) 往復 ¥4870 × 2 (往復) × 2 人分 = ¥19,480.-

はるか往路 ¥320 + 復路 ¥650 × 2 人分 = ¥1,620.-

(研修参加費)

¥5,850.- × 2 人分 = ¥11,700.-

(振込手数料)

¥324.- × 2 人分 = ¥648.-

計 ¥68,328.-

5. 報 告

<8月7日>

●12:30~13:30 開校式

●13:05~13:40 開講オリエンテーション

●13:50~16:25 「地方行財政の現状と今後の課題」(講義)

講師 田村 秀氏 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授

(内容)

- ・ 地方行財政の現状について
- ・ 中央集権 VS 地方分権
- ・ 法体系の違い 法律で明示的に授権された事務権限しか執行できない
- ・ 日本では 環境アセスメント、行政評価など、自治体が国より先行
- ・ 財政について 国が地方財政計画を策定して財源確保  
世界に冠たる地方交付税制度  
標準税率のしぼり、その後、分権改革
- ・ 法定外普通税と法定外目的税について
- ・ 政策法務の課題 地方分権一括法の施行以降、自治体の政策形成能力、  
特に政策法務能力が課題
- ・ 具体的事例 1 ポイ捨て禁止条例
- ・ 具体的事例 2 ペット葬祭施設の設置等に関する条例
- ・ 具体的事例 3 乾杯条例
- ・ 群馬県みなかみ町の経験から
- ・ 政策形成の課題 政策提案も重要だが、提案のチェックも重要
- ・ 住民の多様なニーズを把握するために  
世論調査とは？ インターネット調査はなぜ多用されるか？  
率か数か？

●16:40~17:45 政策立案演習 (準備)

(内容) 小グループに分かれて討議し、立案する政策テーマを決める。

<8月8日>

●9:00~10:35 地方議会の仕組みと権限 (講義)

講師 内田一夫氏 元全国都道府県議会議長会事務局次長

(内容)

- ・ 議会とは
- ・ 議員とは
- ・ 議会の政策提案の重要性についての提言
- ・ 地方議会における政策提案ツール
- ・ 質問・質疑の在り方
- ・ 定例会の流れ
- ・ 議会特有のルール

- ・委員会審査の特徴
- ・議会豆知識
- 10:50~12:00 政策立案のポイント（講義）
  - 講師 菊地端夫氏 明治大学経営学部公共経営学科准教授
  - ・地方議会を取り巻く状況とこれから
  - ・地方議会における政策リサーチ
  - ・リサーチクエスチョン：現状確認型と原因探求型
  - ・仮設の導出と検証（分析・推論）
  - ・政策デザインとEBPM（証拠に基づく政策形成）
  - ・議会の参加型マーケティング
  - ・政策形成過程における議会・議員の関わり方と責任
  - ・交流・定住人口増と議会
  - ・多文化共生と自治体議会
  - ・防災・災害対策と議会
  - ・参考文献
- 13:00~17:30 政策立案演習
  - 小グループに分かれて討議し、講師の指導の下、具体的な政策を立案した。

<8月9日>

- 9:00~12:00 政策立案演習（発表・講評）
  - これまでの討議で取りまとめた内容を、グループごとに発表。
  - 発表後は質疑応答を行い、講師（菊地准教授）からの講評を受けた。
- 12:10~ 修了式

（感想）

1日目、2日目の講義で地方議会の役割や条例についての考え方を研修し、その上で、政策立案をグループに分かれて討議しました。グループは7つあり、テーマは、「議会の参加型マーケティング」「交流・定住人口増と議会」「多文化共生と自治体議会」「防災・災害対策と議会」の4つのテーマ。私は、「防災・災害対策と議会」をテーマに6名のメンバーで政策を討議し立案した。全国から参加しているの、それぞれの市町の規模や状況や課題が違い、まずは、それぞれの市町の状況を紹介しながら、政策を立案していった。かなりの議論を行ったが、話し合いながら、共通の課題や政策、具体的な政策等を生み出していった。それぞれの市町の状況等、大変に勉強になり、楽しく協議することができた。3日目は、それぞれのグループが立案した政策を発表したが、それぞれの政策についても、今後の取り組みとして、大変参考になった。

(感想) 二見 裕子

今回の市町村議会議員特別講座は、3日間の日程で、政策立案の基本を学び、演習をグループに分かれ、指定のテーマについて情報交換、討議をし、明治大学経営学部公共経営学科菊池 准教授のご教示を頂きながら、最終日にグループごとにプレゼンテーションを行うものでした。

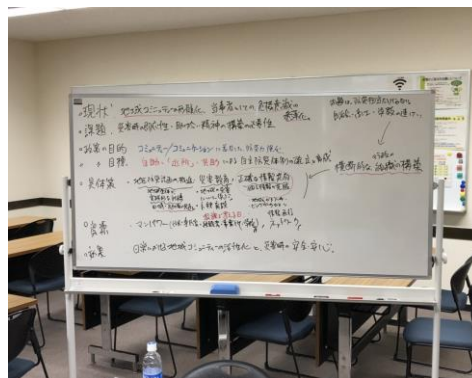
テーマは「議会の参加型のマーケティング」「政策形成過程における議会・議員の関わり方と責任」「交流・定住人口増と議会」「多文化共生と自治体議会」「防災・災害対策と議会」の5つ。

私は「議会の参加型のマーケティング」のテーマを選択し、4人（宮城県蔵王町・神奈川県茅ヶ崎市・神奈川県南足柄市・広島県東広島市）の議員のメンバーとグループを組みました。提案する政策を「若年層の選挙と政治への関心・関与を高める」と決め、課題、政策の目的、具体的な政策等、それぞれの市町の状況を話し、プレゼンテーションに向けて、担当を決め政策立案に取り組みました。

他市町の状況を聞くことは大変勉強になり、また、グループの5人中、3人の方が4月の統一地方選挙で初当選された方だったので、とても刺激を受けました。

最終日の各グループの政策立案のプレゼンテーションでは、他のテーマの政策立案は、今後の取り組みの参考になりました。

## 市町村議会議員特別講座 参考資料



グループごとに分かれて討議



グループごとに政策を発表  
私はGグループを代表し発表した。



グループごとに菊地准教授と記念撮影



政策発表終了後、特別講座参加者全員で菊地准教授と記念撮影を行った。



第1711号

# 修了証書

大阪府熊取町議会  
渡辺 豊子

あなたは、特別課程「市町村議会議員特別講座」（第33期第2組）において所定の課程を履修しこれを修了したことを証します。

令和元年 8月 9日

市町村職員中央研修所

学 長

高部 正男





第1710号

# 修了証書

大阪府熊取町議会  
二見 裕子

あなたは、特別課程「市町村議会議員特別講座」（第33期第2組）において所定の課程を履修しこれを修了したことを証します。

令和元年 8月 9日

市町村職員中央研修所

学 長

高部 正男

